

現状・課題

- ✓ 絶えず変化していく学校や社会のニーズに対応していく上で、多様性と柔軟性を備えた教職員集団へと転換していくことが求められている中において、開放性による教員養成の趣旨を踏まえ、各課程認定大学がそれぞれの特色を生かしながら、特定分野（※）に強みや専門性を有する教員を養成していくことが必要。
- ✓ 教育実習の履修時期や教員採用試験が民間の採用活動と重なる等の課題もあり、一般大学・学部において、教職課程の履修を断念する傾向が顕著に見られる例も出てきている。
- ✓ 令和4年度から小学校高学年における教科担任制の本格的導入が予定されていることを踏まえ、専科指導の優先実施教科とされた、外国語、理科、算数及び体育の指導に係る高い専門性を持った小学校教師の養成を図ることが必要。

新たな現場ニーズに対応した特定分野に強みや専門性を持った教師養成を促進

取組の方向性と主な論点（例）

専門分野と同時に学ぶ教職課程に係る履修負担の軽減

○ 専門分野の学びを深めたり、在学中に教師を志すようになった者が卒業までの間に教員免許状を取得したりすることにも柔軟に対応できるよう、学校現場における今日的教育課題に対応した**特定分野に強みや専門性を持った教師の養成に関し、教職課程の履修負担の軽減を図ること**としてはどうか。（※ データ活用、STEAM教育、障害児発達支援、日本語指導、心理・教育相談、社会福祉、社会教育のほか、例えば、高い語学力や外国語指導力、グローバル感覚を身に付けるために、海外留学を希望する学生を念頭に、教職課程の履修に係る負担を軽減すること等も考えられる。）

- ・ 特定分野に強みや専門性を持った教師の養成に係る特例的な措置として、例えば、**四年制大学においても、最短、二年間で免許状取得に必要な基礎資格・単位を得られる二種免許状の取得を念頭に置いた教職課程の開設や履修モデルを設定**することについてどう考えるか。これを可能とした場合、具体的な現場採用ニーズに即したものであることを明らかにすることや、免許状の上申に適切に対応すること等の**一定の条件を付す**ことについてどう考えるか。
- ・ 特定分野に強みや専門性を持った教師の養成・採用を一体のものとしていくための**大学と教育委員会との連携の在り方**についてどう考えるか。**採用を促進するための取組**としてどのようなことが考えられるか。

専科指導優先実施教科に対応した小学校教員養成の促進

○ 各地域や学校の実情に応じた小学校高学年における教科担任制の取組を進めていく観点から、小学校と中学校の教員免許状の併有促進に留意しつつ、**特定教科の指導に強みを持つ小学校教師を養成する取組を促進**することが重要ではないか。

- ・ 学校規模や地理的条件等、各地域や学校の実情に応じ、義務教育9年間を見通した教科担任制の取組を推進するため、**中学校教員養成課程を開設する学科等において、小学校教員養成課程の開設を促進する方策**についてどのようなことが考えられるか。
- ・ 小学校高学年における教科担任制推進のための特例的な措置として、例えば、開放性による教員養成の特色を生かし、**教員養成を主たる目的とする学科等以外の学科等**においても、**小学校高学年における教科担任制に対応した小学校教員養成を行うこと**についてどう考えるか。